

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

http://www.precut-kyokai.com

令和2年度CAD技術者研修 オンラインにて開催される

— 1級～3級及び登録更新コース —

令和2年度のCAD技術者研修が2～3月に開催されました。今年度は、コロナ禍の拡大防止のため東京都を始めとする首都圏エリアに緊急事態宣言が発令される中、当協会主催事業としては初めて、Zoomによるオンライン研修として開催いたしました。

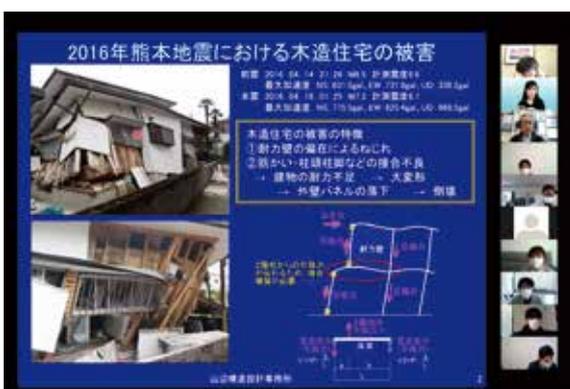
1級コースは、令和3年3月1日(月)・3日(水)・5日(金)に参加者数16名(うち会員工場からの参加者数5名。以下同じ)、2・3級コースは、令和3年2月1日(月)・3日(水)・5日(金)に参加者数2級50名(31名)、3級12名(10名)及び併願12名(0名)で実施しました。



オンラインでの意見交換の様子 (Zoom録画から)

1級コースは、プレカット工場のCAD部門の責任者に相当する人材を対象としていることから、単に講義を受けるだけでなく、例えば実際のトラブル事例を用いて原因や対策を検討したり、事例発表やグループディスカッションによる他社との情報交換を行うなど、自らの経験を活かして考え、より理解を深める研修形態としました。

1級コース、2・3級コース共に、受講者が研修内容の理解度を自ら認識するため、研修最終日には修了考査を行いました。各コースとも考査結果が基準点以上の受講者については、申請によりプレカットCAD技術者認定登録が可能になります。



パワポを使用した講義 (Zoom録画から)

また、登録期限満了に伴う更新講習については、今年度は2級コースに加え、新たに1級コースの更新講習も開催しました。登録更新2・3級コースは令和3年2月16日(火)、登録更新1級コースは令和3年3月11日(木)に開催し、参加者数はそれぞれ43名(22名)、11名(5名)でした。変化の激しい昨今の木造住宅市場において、法制度等の変更や新しい動向の把握という意味でも、更新講習の意義は大きいと言えます。

本研修カリキュラムは、その時々課題や新しいテーマも取り入れつつ、通常の業務に習熟するだけでは得ることの難しい、より深い知識と幅広い視点を持ったCAD技術者の育成を目指す内容となっています。令和3年度も研修実施を予定していますので、是非ご参加いただけますようお願いいたします。

プレカット業況調査 (令和3年2月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率: 43%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	4	38	58	-54	+13
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	38	38	24	+14	-41
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	答: 5,850円(対前回調査±0円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	80	12	-4	-4
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	80	12	-4	-14
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	0	46	54	-54	-21
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	0	31	69	-69	-20
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	8	31	61	-53	+17
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	24	38	38	-14	-51

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

*前回調査: 令和2年11月

◇簡単なコメント

2月の各設問のDIをみると、受注額については、現状では前回予想結果(-41)どおり悪化の会員が半数以上を占めているが、今後については好転の予想が上回っている。収益については、6割が悪化として-53の現況となっているが、今後についても悪化の予想が上回っている情勢となっている。加工単価については8割の会員が変わらずの状況であり、3ヵ月後についても変わらずと予想している。また、資材の入手状況は、現状では容易が全くない状況にあり、先行きについても世界的な新型コロナウイルス拡大の影響からか6割以上が困難と予想している。今後は、感染症が収束し、需要の回復につながることを期待している状況のようである。

- 1 受注額のDIは-54で前回調査時(令和2年11月期)に比べて、悪化が半数以上を占める現状にある。また、3ヶ月後の予測のDIは+14で好転予想が上回っている。
- 2 3ヵ月前と比較した製品加工単価のDIは-4と大半の会員は変わらずの状況となっている。平均総加工単価は5,850円と3ヵ月前と比べて同じ単価となっている。3ヵ月後の製品加工単価のDIは-4で同様の傾向は続くと予想している。
- 3 資材入手状況のDIは-54で入手困難が増加している状況にある。さらに、3ヵ月後の予測のDIについても-69とさらに入手困難が加速すると予想している。
- 4 3ヵ月前と比べた今月の収益のDIは-53と6割以上の会員が悪化している状況にある。前回調査時の3ヶ月後の収益予測は-51であったが予想どおりに悪化した現状となっている。さらに、3ヶ月後の収益予測は-14と現状より若干改善するのではないかとの見通しとなっている。

令和2年 協会会員工場基礎調査結果について (第1回)

— プレカット加工用資材の材種別使用状況 —

〈令和2年12月末現在〉

令和2年に協会会員工場で使用した資材について、国産材、輸入材別にグリーン材、KD材、集成材、合板、その他の使用割合について集計、分析を行いました。(調査工場数：32工場)

国産材 (46.0%)

表中の () は去年の数値

使用割合(%)	グリーン材	KD材	集成材	合板	その他
0～10	24	4	7	11	30
11～20	5	8	7	7	2
21～30	3	3	8	1	0
31～40	0	5	2	6	0
41～50	0	4	4	3	0
51～60	0	5	0	4	0
61～70	0	1	2	0	0
71～80	0	1	2	0	0
81～90	0	0	0	0	0
91～100	0	1	0	0	0
平均使用率(%)	7.3	35.8	28.9	25.8	2.2
中央値(%)	5	32	25	20	0
(平均使用率(%))	(8.8)	(42.2)	(25.0)	(23.1)	(0.9)
中央値(%)	(5)	(39)	(21)	(17)	(0)

輸入材 (54.0%)

使用割合(%)	グリーン材	KD材	集成材	合板	その他
0～10	28	2	3	28	32
11～20	3	2	0	4	0
21～30	1	6	3	2	0
31～40	0	4	6	0	0
41～50	0	8	9	0	0
51～60	0	5	3	0	0
61～70	0	3	4	1	0
71～80	0	1	1	0	0
81～90	0	1	2	0	0
91～100	0	0	1	0	0
平均使用率(%)	3.6	43.4	49.2	3.5	0.3
中央値(%)	0	46	50	0	0
(平均使用率(%))	(3.6)	(36.2)	(53.3)	(6.3)	(0.6)
中央値(%)	(0)	(33)	(50)	(0)	(0)

◇簡単なコメント

- 1 国産材においては、これまで平均使用率の長期的なトレンドとして、グリーン材の使用率の低下や集成材等の増加が続いており、今回の調査した結果では、KD材36%、集成材29%、合板26%、グリーン材7%という結果になった。平均使用率を前回と比較すると、グリーン材の割合は2ポイント低下している。KD材の割合は低下しているが、集成材、合板の割合は上昇している。
- 2 また、輸入材においては、集成材が49%、KD材が43%、合板4%、グリーン材4%という結果になった。前回の調査結果よりKD材の使用率が上昇し、集成材、合板は低下している。

令和3年度事業計画及び収支予算を承認

— 令和2年度第2回理事会を书面決議で開催 —

当協会は、当初3月中に令和2年度第2回理事会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況に鑑み、书面決議により実施しました。

当協会の定款により「理事全員が書面により同意の意思を表示したときには、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなす」となっており、結果として3月22日付けで理事会の承認をいただきました。

議事内容は、「令和3年度事業計画（案）及び令和3年度収支予算（案）」を提案し承認されました。さらに、「令和2年度事業の遂行状況」について資料でお示しし、この中では、従来から実施している普及事業、調査事業の他、技術支援事業として「プレカットCAD技術者基準」に基づくプレカットCAD技術者研修（1級～3級及び登録更新）の実施とプレカットCAD技術者認定登録の状況等が報告されました。

なお、今回の理事会で承認された「令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算」は、6月15日（火）に開催予定の第11回定時社員総会（会場：ホテルメルパルクTOKYO 東京都港区芝公園2-5-20）に報告されます。

～知っておきたい「改正建築士法」のポイント～

本年3月に行われたCAD技術者研修において、特に話題となったことの一つに、建築士法の改正による図書保存制度の見直しがありました。

建築士事務所の開設者に義務付けられている図書保存の対象が拡大され、いわゆる4号建築物についても、設計図書を15年間保存することが義務付けられました。この改正は既に2020年3月1日より施行されていますが、その影響はあまり注目されていないのが現状です。対象となる図書は、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、構造計算書等とされています。これによりプレカット工場が作成した図面類が設計図書として保存される可能性も出てきました。

保存図書とするならば、材料の種別や継手・仕口の構造方法など、求められる情報が漏れなく記載されているかどうかのチェックが必要となります。図書の種類と明示すべき事項は建築基準法施行規則により規定されています。

また、逆に図面名称を「伏図」ではなく「加工図」等とすることで、設計図書として取り扱わないという立場を明確にすることも考えられます。

いずれにしても、プレカット工場としての方針を明確化し、対応していくことが必要です。

●施行規則第1条の3第1項に規定される図書の種類と明示すべき事項（抜粋）

令第三章第三節の規定が適用される建築物（木造）

各階平面図	構造耐力上主要な部分である部材の位置及び寸法並びに開口部の位置、形状及び寸法
二面以上の立面図	
二面以上の断面図	
基礎伏図	構造耐力上主要な部分である部材（接合部を含む。）の位置、寸法、構造方法及び材料の種別並びに開口部の位置、形状及び寸法
各階床伏図	
小屋伏図	
二面以上の軸組図	
構造詳細図	屋根ふき材の種別
	柱の有効細長比
	構造耐力上主要な部分である軸組等の構造方法
	構造耐力上主要な部分である継手又は仕口の構造方法
	外壁のうち、軸組が腐りやすい構造である部分の下地
	構造耐力上主要な部分である部材の地面から一メートル以内の部分の防腐又は防蟻措置
使用構造材料一覧表	構造耐力上主要な部分に使用する木材の品質

*建築基準法施行規則 第一条の三（確認申請書の様式）表二 より抜粋